令和７年度草津市水道事業報告書

（１）　概　況

イ　総括事項

本市の水道事業においては、令和４年度からスタートしました「第２次草津市水道ビジョン〔経営計画（経営戦略）〕」に基づき、安全で安心な水道水を安定して供給し続けるため、施設や管路の老朽化、将来的な水需要の減少見通しなどの諸課題の解決を図り、公営企業としてより効率的で透明性の高い事業実施に努めております。

本年度は昨年度に引き続き、災害時に安定して水を提供できるよう、施設面では、浄水場施設の耐震補強及び浸水対策工事を実施し、管路面では、管路の更新工事にあわせて耐震化を進めました。

組織体制面では、熟練者から若年者への内部研修や近隣他市町との合同研修の実施、また各種外部研修への参加などにより、職員の知識習得及び技術継承を図りました。

経営面では、物価高騰などによる経費の増加がありましたが、当年度純利益を確保し、水道料金の１０％還元を継続実施しました。

啓発面では、水道水は安くて安全でおいしい水であるという認識を広く市民に周知するため、きき水大会を実施するとともに、災害時などに活躍する給水車のペーパークラフトの配布を行いました。

「水道」は住民の命や生活を支える最重要のライフラインであります。近年、全国各地で頻発する自然災害や老朽化に起因する事故等を未然に防ぐためにも、施設の耐震・浸水、管路の更新等の対策を遅れることなく着実に実施し、また、次世代に向けたより一層効率的な事業運営と経営基盤の強化に取り組むとともに、水道水の大切さや安全性のＰＲを行うなど、本市の水の啓発と利用促進にも努めてまいります。

（給水および業務状況）

本年度の給水状況としましては、年間配水量は約1,633万㎥で前年度比0.3％減、有収水量については約1,577万㎥で前年度比0.3％減、有収率は前年度と同様に96.6％となりました。

依然、全国平均を上回る有収率を維持しており、引き続き、主要配水管を対象とした漏水調査や、計画的な老朽管更新を進めてまいります。

収益的収支の状況については、収益額が24億5,912万1,401円、費用額が23億318万8,411円で、差引1億5,593万2,990円の純利益を計上しています。この未処分利益剰余金については、減債積立金に7,797万円を積み立て、7,796万2,990円を建設改良積立金に積み立てる予定です。

一方、資本的収支については、収入額4億1,982万8,044円に対し、支出額は15億3,845万3,650円となり、差引11億1,862万5,606円の不足が生じました。この不足額については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1億173万2,378円、減債積立金1億3,063万円、建設改良積立金1億3,063万9,086円ならびに損益勘定留保資金7億5,562万4,142円で補てんしました。

また、北山田浄水場薬品沈殿池等耐震補強工事他２件については、地方公営企業法第２６条第１項の規定により5億6,660万6千円を令和８年度に繰り越しました。

区　　分		令和７年度	令和６年度	増　減	増減比率
給水件数		37,421 件	37,009 件	412 件	1.1 %
配水量	総　　量	16,333,507 ㎥	16,376,920 ㎥	△ 43,413 ㎥	△ 0.3 %
	一日最大	48,045 ㎥	48,084 ㎥	△ 39 ㎥	△ 0.1 %
	一日平均	44,749 ㎥	44,868 ㎥	△ 119 ㎥	△ 0.3 %
有収水量		15,770,504 ㎥	15,818,176 ㎥	△ 47,672 ㎥	△ 0.3 %
有　収　率		96.6 %	96.6 %	0.0 %	―